

## 意見への対応を記載した書類（6月）

（目次）人間教育学部人間教育学科

### 【教育研究実施組織】

1. 基幹教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性の観点から、若手教員の採用計画など教育研究実施組織の将来構想を明確にすること。

(改善事項) 人間教育学部人間教育学科

1. 基幹教員の年齢構成が高齢に偏っていることから、教育研究の継続性の観点から、若手教員の採用計画など教育研究実施組織の将来構想を明確にすること。

(対応)

完成年度以降の教員組織編制は、完成年度末で退職予定となる12人（完成年度までに桃山学院教育大学特別任用教員就業規則に定める契約上限年齢を迎えた10人および完成年度末で契約上限年齢に達する2名）の後任人事を着実にを行い、教育研究体制の継続及び充実を図ります。開設初年度より、具体的には、30歳代から50歳代の若手教員の採用を含む採用計画に沿った採用活動を着実にを行います。当該採用計画を反映させた2029（令和11）年度の年齢構成は以下のとおりです。この時点で「大学統合に伴う桃山学院教育大学人間教育学部特別任用教員の契約上限年齢および雇用契約期間の特例措置に関する規程」【資料16】に基づく契約上限年齢を超える基幹教員は不在となります。基幹教員の採用にあたっては、教育研究業績、保有学位、専攻分野と授業科目の科目適合性、社会貢献の実績および学校教諭や教育委員会等の実務経験を総合的に判断し、職位および年齢バランスを考慮して採用を行います。

人間教育学部基幹教員の職位別年齢構成（2029（令和11）年度開始時点）（単位：人）

職位／年代	30歳代		40歳代		50歳代		60歳～64歳	65歳～68歳
	現員	新規	現員	新規	現員	新規	現員	現員
教授				(4)	2	(4)	2	8
准教授		(4)	5		4		3	
講師	2		1					
助教	1							
小計	7		10		10		5	8
比率	17.5%		25.0%		25.0%		12.5%	20.0%
合計	40 (100%)							

※()は2029（令和11）年度採用予定の教員数

※途中退職等により欠員が生じた場合は適宜採用を行う

(新旧対照表)設置の趣旨等を記載した書類(本文)(32～33ページ)

新	旧
(2) 教員の年齢構成 (省略)	(2) 教員の年齢構成 (省略)

教育研究の継続性から年齢バランスを計画的に解消するため、開設初年度より、具体的には、30歳代から50歳代の若手教員の採用を含む採用計画に沿った採用活動を着実に行う。当該採用計画を反映させた2029（令和11）年度の年齢構成は以下のとおりである。

人間教育学部基幹教員の職位別年齢構成（2029（令和11）年度開始時点）（単位：人）

職位／年代	30歳代		40歳代		50歳代		60歳～64歳	65歳～68歳
	現員	新規	現員	新規	現員	新規	現員	現員
教授				(4)	2	(4)	2	8
准教授		(4)	5		4		3	
講師	2		1					
助教	1							
小計	7		10		10		5	8
比率	17.5%		25.0%		25.0%		12.5%	20.0%
合計	40 (100%)							

※()は2029（令和11）年度採用予定の教員数

※途中退職等により欠員が生じた場合は適宜採用を行う

この時点で、「大学統合に伴う桃山学院教育大学人間教育学部特別任用教員の契約上限年齢および雇用契約期間の特例措置に関する規程」【資料16】に基づく契約上限年齢を超える基幹教員は不在となる。なお、基幹教員の採用にあたっては、教育研究業績、保有学位、専攻分野と授業科目の科目適合性、社会貢献の実績および学校教諭や教育委員会等の実務経験を総合的に判断し、職位および年齢バランスを考慮した採用を行う。また、教員組織の編制にあたっては、公募の継続的な実施と併せて基幹教員の教育研究実績の積み上げにも注力し、教育研究の維持・向上に努めることとする。（以下、略）

教育研究の継続性から年齢バランスを計画的に解消するため、開設2年目となる2026（令和8）年度に教員採用計画を策定し、2028（令和10）年度には同計画に沿った教員募集等を開始する。

（新規）

教員組織の編制にあたっては、公募の継続的な実施と併せて基幹教員の教育研究実績の積み上げにも注力し、教育研究の維持・向上に努めることとする。（以下、略）

以上